

調査資料

『図画教育通信』目次 (2)
——第 205 信 (大正 14 年 10 月 15 日) ~
第 220 信 (昭和 2 年 3 月 1 日) ——

亀澤 朋恵

A Table of Contents “Zuga-Kyoiku Tsushin” (2)
- from No.205 (Oct.1925) to No.220 (Mar.1927) -

KAMEZAWA Tomoe

本稿は、拙稿『図画教育通信』目次 1 (1) に引き続き、第 205 信 (1925 (大正 14) 年 10 月 15 日発行) から第 220 信 (1927 (昭和 2) 年 3 月 1 日) の目次である。(1) からの繰り返しになるが、『図画教育通信』は、これまで第 168 信 (1920 (大正 10) 年 10 月 1 日発行) から、途中欠落があるものの、第 237 信 (1928 (昭和 3) 年 10 月 10 日発行) まで全部で 42 号分確認している¹。本稿はその第 2 弾である。紙幅の都合上、第 220 信までの目次とする。目次は表 1 にまとめた。

本稿が対象にした時期の特徴的な記事を概略的に二つ挙げておこう。

一つは「足洗記」「図画を基礎とせる学問技術の考査研究」といった記事が新しく出現する。前者の「足洗記」は、第 209 信 (1924 (大正 13) 年 3 月 15 日) が「其二」とされているため、現在欠落している第 208 信 (1924 (大正 13) 年 2 月 15 日発行) からの登場と思われる。内容は、教職を辞してほかの道で活躍する元図画教員が紹介されている。

後者「図画を基礎とせる学問技術の考査研究」は、第 215 信 (1926 (大正 15) 年 10 月 1 日発行) からタイトル名が長くなり、「図画科を基礎とせる学問技術の考査及び実習をなし如何に図画科を開発せんかとの研究資料となし又図画教員をして我国の産業振興に關与せしめんとす」というタイトルに変わった。授業実践に役立つ技術の紹介であるが、染色関連の技術紹介が多い。絵画の話題は、確認する限りにおいて出現しない。個々の記事の内容については詳細な分析や調査が必要であり、一概には言及できない。また、主筆・川村孝の図画教育思想、当時の教育現場のニーズや産業構造など多角的に検討しうるものであり、これについては稿を改めて検討したい。

本稿で使用した資料は大分県立美術館から提供して頂いたものである。『図画教育通信』は、

2020年9月現在、同館の他には発見できていない。この場を借りて御礼申し上げたい。

表1 『図画教育通信』第205信～第220信 目次

第205信 大正14年10月15日発行			
題名	筆者	頁	備考
▲我国は国土が狭くて人口が多い……		1	※1
▲現在学校教育の危機欠陥は社会の実際を無視し生活の実際と没交渉なのである……		1	※1
甲校に一年乙校に二年転々又転々果たして真の教育者たり得るや 長岡女師に勤続二十五年の藤巻直治氏		2	
愛知中学に勤続二十四年の野崎兼清氏		2	
泉南高女に勤続十八年の関欽哉氏		2	
外職彙報 二十 富山工業学校教諭永原与蔵氏に新著 家具図案と構造図解 本社にて取次す 価二円八十銭 送料十八銭		2	
同 二十一 本庄中学教諭宮本幸恵氏著 彩色の研究 と其取扱法 本社にて取次す 近刊		2	
動静		3	
月代や風吹き渡る京の町	愚哉	3	
教授法とやら教壇上での手振身振口の先で如何に達者な事を云ふたとて其れが何になる		3	
女子学習院常磐会館に於ける本社主催の染織講習会		3	
本社主催第十四回講習会		4	※3
直線支空器		4	※3
新刊 旧刊 本社にて取次す		4	※3

針金製幾何形体模型		4	※3
-----------	--	---	----

第206信 大正14年12月1日発行

題名	筆者	頁	備考
▲我国は国土が狭くて人口が多い・・・		1	※1
▲現在学校教育の危機欠陥は社会の実際を無視し生活の実際と没交渉なのである・・・		1	※1
外職彙報 二十二 大阪府立豊中中学教諭齋川五郎平氏新著 参考幾何画と其原理 近刊 本社にて取次す		2	
動静		2	
初冬の禿山近き小村かな	愚哉	2	
図画を基礎とせる学問技術の考査研究 其三 染織パステルの製法及其染法	川村東陽	2	
一度染めたる色を脱色する法		3	
矢掛中学に勤続二十三年の守田精一氏		3	
隆々たる本社		3	
本社主催第十五回講習会		4	※3
直線支空器		4	※3
新刊 旧刊 本社にて取次す		4	※3
針金製幾何形体模型		4	※3

第207信 大正15年1月1日発行

題名	筆者	頁	備考
▲我国は国土が狭くて人口が多い・・・		1	※1
▲現在学校教育殊に中小学女学校に於ける危機欠陥は社会の実際を無視し生活の実際と没交渉なのである・・・		1	※1

外職彙報 二十三 高岡工芸学校教諭 棚田嘉臣氏の 創作 あづさ人形(商工展にて褒状を受領)		2	
談論		2	
ゆづり葉に初雪積てくさ赤し	愚哉	2	
教授法とやら教壇上での手振身振口の先で如何に達者 な事を云ふたとて其れが何になる		2	
社生募集		2	※3
甲校に一年乙校に二年転々又転々果たして真の教育者 たり得るや・・・ 米沢工業に勤続二十一年の横田武太郎氏こそ其一人 である		3	
動静		3	
初雪の庭に南天の赤きかな	愚哉	3	
図画教員の将来に光輝あるか	川村東陽	3	
本社主催第十六回講習会		4	※3
直線支空器		4	※3
新刊 旧刊 本社にて取次す		4	※3
針金製幾何形体模型		4	※3

第208信 (欠落)

第209信 大正15年3月15日発行

題名	筆者	頁	備考
▲我国は国土が狭くて人口が多い・・・		1	※1
一割を俺に遣せ		1	※1
足洗記 其二 元藤岡中学教諭 的場白峯氏の自営の 当初及現在		2	
図画を基礎とせる学問技術の考査研究 其四 抜染法	川村東陽	2	

教授法とやら教壇上での手振身振口の先で如何に達者な事を云ふたとて其れが何になる		2	※1
甲校に一年乙校に二年転々又転々果たして真の教育者たり得るや・・・ 高岡工芸学校に勤続二十三年の中島次郎氏		3	
動静		3	
鶯や不二を見て居る人がある	愚哉	3	
福岡師範教諭 山下一雄氏の新しき試み 婦人モデルの使用		3	
本社の展覧部		4	※3
直線支空器		4	※3
新刊 旧刊 本社にて取次す		4	※3
針金製幾何形体模型		4	※3

第 210 信 大正 15 年 4 月 1 日 発行			
題名	筆者	頁	備考
▲我国は国土が狭くて人口が多い・・・		1	※1
学用品の粗製濫造品質不良の大半の責任は顧客側にある・・・		2	※1
染織につきて本社の顧問として尽力せらるる 大給近清氏		2	
東京美術学校本年卒業生中の図画教員有資格者		3	
同 図画師範科卒業生及赴任学校		3	
動静		3	
鶯や君に愛たき慶事あり	愚哉	3	
文部省の尋正の素質改善策には手工があつて図画が無い		3	※1
ラジオの昼間放送の大部分・・・		3	※1※2
鑑識力の幻(幼)稚なるべき生徒に・・・		3	※1

教授法とやら教壇上での手振身振口の先で如何に達者な事を云ふたとて其れが何になる		3	※1
社生募集		3	※3
本社の展覧部		4	※3
直線支空器		4	※3
新刊 旧刊 本社にて取次す		4	※3
針金製幾何形体模型		4	※3

第211信 大正15年5月1日発行

題名	筆者	頁	備考
▲我国は国土が狭くて人口が多い…		1	※1
学用品は購買部を設けて…		1	※1
ポスターに就て 三越呉服店囑託 杉浦非水氏談		2	
本誌は頁数を多くしない…		2	※1
図画教育及教員の為になる…		2	※1
諏訪中学教諭 小澤秋成氏の第一回聖徳太子奉讃美術展覧会出品 窓外の既春		3	
動静		3	
夏近き海の日に入る山の上	愚哉	3	
学用品の粗製濫造品質不良の大半の責任は顧客側にある…		3	※1
本社の展覧部		4	※3
直線支空器		4	※3
新刊 旧刊 本社にて取次す		4	※3
針金製幾何形体模型		4	※3

第212信 大正15年6月1日発行

題名	筆者	頁	備考
▲我国は国土が狭くて人口が多い…		1	※1

本社主催第十七回講習会 染色術の研究		1	
社生募集		1	※3
外職彙報 二十四 諏訪中学教諭 小澤秋成氏の奉賛 展入選の榮譽		2	
動静		2	
流れ越しで一村見ゆる茂りかな	愚哉	2	
教授法とやら教壇上での手振身振口の先で如何に達者 な事を云ふたとて其れが何になる		2	
同 二十五 熊谷中学教諭 大久保喜一氏の奉賛展入 選の榮譽		3	※4
同 二十六 香川女師教諭 平井為成氏の奉賛展入選 の榮譽		3	※4
本社の展覽部		4	※3
直線支空器		4	※3
新刊 旧刊 本社にて取次す		4	※3
針金製幾何形体模型		4	※3

第213信 大正15年7月1日発行

題名	筆者	頁	備考
▲我国は国土が狭くて人口が多い……		1	※1
学用品の撰択を生徒の自由に放任する事は教師として 怠慢不忠実なる事である……		1	※1
外職彙報 二十七 大阪府立豊中中学教諭 齋川悟朗 氏の大著 用器画の講義と其原理 菊判二百余頁最上クロス製挿 図六百問題四百五十定価二円四十銭		2	
活版石版コロタイプ御註文に応ず 本社印刷部		2	※3
減俸希望書 G 教諭の話 為藤五郎	為藤五郎	3	
動静		3	

茂り深き中に古本の鳥居あり	愚哉	3	
知識階級の失業の原因は・・・		3	※1
本社の展覧部		4	※3
直線支空器		4	※3
新刊 旧刊 本社にて取次す		4	※3
針金製幾何形体模型		4	※3

第214信 大正15年7月15日発行

題名	筆者	頁	備考
▲我国は国土が狭くて人口が多い・・・		1	※1
図画教員に将来の光輝あるか	川村東陽	1	
学校購買部論	川村東陽	2	
動静		3	
川端を涼しき日との通りけり	愚哉	3	
教授法とやら教壇上での手振身振口の先で如何に達者な事を云ふたとて其れが何になる		3	※1
知識階級の失業の原因は・・・		3	※1
本社主催第十八回講習会		4	※3
新刊 旧刊 本社にて取次す		4	※3
針金製幾何形体模型		4	※3

第215信 大正15年10月1日発行

題名	筆者	頁	備考
▲我国は国土が狭くて人口が多い・・・		1	※1
ラジオの昼間放送の大部分・・・		1	※1
北予中学校に十七年間無欠勤の牧野龍二氏		2	※5
動静		2	
三日月を見て鳴き止みぬ秋の蟬	愚哉	2	
図画教員に将来の光輝あるか	川村東陽	2	

図画科を基礎とせる学問技術の考査及び実習をなし如何に図画科を開発せんかとの研究資料となし又図画教員をして我国の産業振興に關与せしめんとして 其五 描き更紗 霧染	川村東陽	3	
活版石版コロタイプ御註文に应ず 本社印刷部		3	※3
引伸写真 本社引伸写真部		3	※3
社生募集		3	※3
本社の展覽部		4	※3
直線支空器		4	※3
新刊 旧刊 本社にて取次す		4	※3
針金製幾何形体模型		4	※3

第216信 大正15年11月1日発行

題名	筆者	頁	備考
▲我国は国土が狭くて人口が多い…		1	※1
文部省図画講習会出席者		1	
動静		2	
朝寒や関谷あたりの馬子の唄	愚哉	2	
記念絵葉書の調製		2	※3
▲ラジオの昼間放送の大部分…		2	※1
活版石版コロタイプ御註文に应ず 本社印刷部		2	※3
引伸写真 本社引伸写真部		3	※3
版画の宣伝に努力の三氏 藤岡亀三郎氏 末廣長氏 武田新太郎氏		3	
本社主催第十八回染色講習会(十月十六日)		3	
本社の展覽部		4	※3
直線支空器		4	※3
新刊 旧刊 本社にて取次す		4	※3
針金製幾何形体模型		4	※3

第217信 大正15年12月1日発行

題名	筆者	頁	備考
▲我国は国土が狭くて人口が多い……		1	※1
学用品の粗製濫造品質不良の大半は顧客側にあり……		1	※1
外職彙報 二十八 東京市成城小学校教諭 稲森縫之助氏の新著 児童への美術講話 本社にて取次す		2	
外職彙報 二十九 大阪府立豊中中学校教諭 齋川五郎平氏の浮世絵版画研究会設立と古代錦絵の分譲交換		2	
版画雑談 日本創作版画協会々員 栗田雄氏談		3	
動静		3	
宿とりて降り初めけり夕しぐれ	愚哉	3	
引伸写真 本社引伸写真部		4	※3
活版石版コロタイプ御注文に必ず 本社印刷部		4	※3
直線支空器		4	※3
新刊 旧刊 本社にて取次す		4	※3
針金製幾何形体模型		4	※3

第218信 昭和2年2月1日発行

題名	筆者	頁	備考
▲我国は国土が狭くて人口が多い……		1	※1
足許の明るい内に		1	※2
外職彙報 三十 大阪府立豊中中学 齋川五郎氏の新著 受験者の為の急行用器画法 四六版約三〇〇頁 挿図約三〇〇 近刊		1	
全国版画作品展覧会 前言		2	
全国版画作品展覧会 規定		2	

外職彙報 三十一 鹿児島第一師範学校教諭 五島健三氏の新著 郊外写生の実際 定価一円 送料十二銭 本社にて取次す			3	
動静			3	
不二近く見ゆる小村の冬田かな	愚哉		3	
▲ラジオの昼間放送の大部分・・・			3	※1
教授法とやら教壇上での手振身振口の先で如何に達者な事を云ふたとて其れが何になる			3	※1
▲鑑識力の幼稚なるべき生徒に学用品・・・			3	※1
引伸写真 本社引伸写真部			3	※3
活版石版コロタイプ御注文に応ず 本社印刷部				※3
直線支空器			4	※3
新刊 旧刊 本社にて取次す			4	※3
針金製幾何形体模型			4	※3

第 219 信 昭和2年2月 15 日発行

題名	筆者	頁	備考
▲我国は国土が狭くて人口が多い・・・		1	※1
早く教員を罷めて		1	※1※2
外職彙報 三十二 松本女子師範学校教諭 藤岡亀三郎氏の新著 図画教育の本質 定価二円送料十二銭 本社にて取次す		2	
動静		2	
傘さして据風呂に入る寒さかな	愚哉	2	
図画科を基礎とせる学問技術の考査及び実習をなし如何に図画科を開発せんかとの研究資料となし又図画教		2	

員をして我国の産業振興に関与せしめんとして 其六 転写染			
智識階級の失業の原因は・・		2	※1
足洗記 其三 元静岡師範教諭 渡辺忠三郎氏 今は内務省にありて神宮の御造営に		3	
引伸写真 本社引伸写真部		3	※3
活版石版コロタイプ御注文に応ず 本社印刷部			※3
直線支空器		4	※3
新刊 旧刊 本社にて取次す		4	※3
針金製幾何形体模型		4	※3

第220信 昭和2年3月1日発行

題名	筆者	頁	備考
▲我国は国土が狭くて人口が多い・・・		1	※1
学校前の文具店曰く		1	※1※2
外職彙報三十三 富山市立工業学校教諭 永原興蔵氏の新著 手工資料木工初歩の家具(四六版 布製箱入 凸版図面三十五葉各説明) 定価一円八十銭本社取次す		2	
足洗記 其四 元青森中学教諭 山崎勇馬氏 今は市内青山に寓して専ら筆硯に 一兩日は学校に氏の足洗には何等の準備も無い 唯一の英断ありしのみ排水の覚悟ありしのみ		2	
外職彙報 三十四 眞崎香苗氏 服部寅男氏 村上稠氏の共著 小学校の図画教育 近日発刊 本社に取次す		3	
動静		3	

山里のさびしき町も子の日かな	愚哉	3	
引伸写真 本社引伸写真部		3	※3
活版石版コロタイプ御注文に応ず 本社印刷部		4	※3
直線支空器		4	※3
新刊 旧刊 本社にて取次す		4	※3
針金製幾何形体模型		4	※3

【註】 ※1 タイトルなし ※2 初出 ※3 広告 ※4 外職彙報 ※5 「甲校に…」と同じ

【付記】 表記は常用漢字、現代仮名遣いに改めた。

註

- 1 亀澤朋恵「『図画教育通信』目次(1)——第168信(大正10年10月1日発行～第204信——第204信(大正14年10月1日)」『愛知江南短期大学紀要』第48号、2019年、41頁。